

平成30年4-6月期中小企業景気動向調査結果

業況DIは3.2ポイントの上昇

公益財団法人神奈川産業振興センター（KIP）が四半期ごとに実施している「中小企業景気動向調査」の平成30年4-6月期の調査結果をまとめましたので、ご報告いたします。

1. 調査要領

- ・調査時期：平成30年5月
- ・調査対象：神奈川県内中小企業2,000社
- ・回答数（率）：1,047社（52.4%） *詳細は下記の通り
- ・調査方法：調査対象への郵送
- ・分析方法：DI（Diffusion Index）*による分析

※業況等について「良い」と回答した企業の割合から「悪い」と回答した企業の割合を引いた数値

区分	送付数	回答数	回答率（%）
製造業	550	368	66.9%
建設業	250	136	54.4%
商業・サービス業 （卸売業、小売業、飲食店、サービス業）	1,200	543	45.3%
合計	2,000	1,047	52.4%

2. 調査結果

（1）総合

	平成29年		平成30年			
	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期 見込	10-12月期 見込
業況DI	▲20.3	▲17.4	▲19.1	▲15.9	▲19.1	▲17.8
売上DI	▲15.6	▲14.0	▲18.2	▲15.8	—	—
採算DI	▲21.2	▲20.3	▲25.4	▲20.7	—	—

総合の業況DIは、前期比3.2ポイント上昇の▲15.9となった。

経営状況では、売上DIは前期比2.4ポイント上昇の▲15.8、また、採算DIは同4.7ポイント上昇の▲20.7となった。

今後の業況DIを見ると、3ヵ月後は現在比3.2ポイント低下の▲19.1、半年後は同1.9ポイント低下の▲17.8を見込んでいる。

（2）業種別特徴

<製造業>

	平成29年		平成30年			
	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期 見込	10-12月期 見込
業況DI	▲6.9	5.8	1.9	3.0	▲4.9	▲6.4
売上DI	3.2	6.6	▲5.6	▲1.4	—	—
採算DI	▲6.3	▲6.0	▲11.1	▲7.4	—	—

製造業の今期の業況 DI は、前期比 1.1 ポイント上昇の 3.0 となった。「受注状況は上向きになって来ているが人手不足の解消が思うように行かず必要人員の確保と業務の効率化が緊急課題である。」などという声も聞かれた。

経営状況では、売上 DI は、前期比 4.2 ポイント上昇の▲1.4、採算 DI は同 3.7 ポイント上昇の▲7.4 となり「今年度内はある程度目途がつき、増収予想だが、来年度については主力の大型建機部品について不透明であり予想しづらい。」といった声も聞かれた。

今後の業況 DI は、3 ヶ月後は現在比 7.9 ポイント低下の▲4.9、半年後は同 9.4 ポイント低下の▲6.4 を見込んでおり、「仕入価格（単価）の上昇に、販価が追いついていない。在庫調整・社員の質の向上で利益確保を図る。大手取引先の受注状況厳しく、夏場迄苦戦。」「若手・中堅の立場となる従業員が熟練者になかなか追いつかない、その上でお客様の製品要求品質・難易度が高まっており、今後の新規案件の受注と利益確保が「人材」によって左右される。」といった声も聞かれた。

なお、製造業の中分類の業況 DI は以下の通り。

	平成 29 年		平成 30 年			
	7-9 月期	10-12 月期	1-3 月期	4-6 月期	7-9 月期 見込	10-12 月期 見込
一般機械	3.6	12.5	21.3	24.4	11.6	5.9
電気機械	▲16.7	2.4	▲8.1	▲14.9	▲5.8	▲2.3
輸送用機械	▲1.7	▲1.5	▲3.2	▲3.0	▲15.2	▲21.2
その他	▲10.2	7.0	▲2.2	3.9	▲10.3	▲9.8

中分類で見ると、一般機械は前期比 3.1 ポイント上昇の 24.4、電気機械は同 6.8 ポイント低下の▲14.9、輸送用機械は同 0.2 ポイント上昇の▲3.0 となった。

今後の業況 DI は、3 ヶ月後は一般機械が現在比 12.8 ポイント低下の 11.6、電気機械が同 9.1 ポイント上昇の▲5.8、輸送用機械は同 12.2 ポイント低下の▲15.2、半年後は一般機械が同 18.5 ポイント低下の 5.9、電気機械が同 12.6 ポイント上昇の▲2.3、輸送用機械は同 18.2 ポイント低下の▲21.2 を見込んでいる。

<建設業>

	平成 29 年		平成 30 年			
	7-9 月期	10-12 月期	1-3 月期	4-6 月期	7-9 月期 見込	10-12 月期 見込
業況 DI	0.0	3.8	0.7	0.0	▲5.2	▲4.4
売上 DI	▲17.3	▲6.8	▲1.5	▲15.4	—	—
採算 DI	▲15.1	▲7.5	▲7.6	▲9.6	—	—

建設業の今期の業況 DI は、前期比 0.7 ポイント低下の 0.0 となった。

経営状況では、売上 DI は前期比 13.9 ポイント低下の▲15.4、採算 DI は同 2.0 ポイント低下の▲9.6 となった。

今後の業況 DI は、3 ヶ月後は現在比 5.2 ポイント低下の▲5.2、半年後は同 4.4 ポイント低下の▲4.4 を見込んでおり、業況は悪化すると見込んでいる。「人手不足が問題です。この状況が続くと人を育てられなくなる。大企業ばかり人があつまってしまうのはどうかと思う。制限をかけてほしいと思う。それが解決しないと会社自体前に進めない。」「人材不足などで募集しても全然引っかからない。人材がいれば、受注出来る。」「引き合いはあっても入札見積合せ等の受注形態では 3 ヶ月後、半年後を、判断するのは難しい状況です。」といった声も聞かれた。

<商業・サービス業>

	平成 29 年		平成 30 年			
	7-9 月期	10-12 月期	1-3 月期	4-6 月期	7-9 月期 見込	10-12 月期 見込
業況 DI	▲33.8	▲37.9	▲37.5	▲32.7	▲32.3	▲29.2
売上 DI	▲27.3	▲29.4	▲30.6	▲25.9	—	—
採算 DI	▲32.3	▲32.8	▲39.0	▲32.7	—	—

商業・サービス業の業況 DI は、前期比 4.8 ポイント上昇の▲32.7 となった。

経営状況では、売上 DI が前期比 4.7 ポイント上昇の▲25.9、採算 DI は同 6.3 ポイント上昇の▲32.7 となった。「原材料費の高騰により仕入値が上昇。追従して売り値を上げられるかが今後の課題です。」「求人しても集まらず、すぐやめてしまう。」などの他、「新しい取組を実施しているため、目の前の業績はいったん悪くなっているが、向かっている方向について採算が取れるようなシミュレーションにしている。」といった声も聞かれた。

今後の業況 DI は、3 ヶ月後は現在比 0.4 ポイント上昇の▲32.3、半年後は同 3.5 ポイント上昇の▲29.2 を見込んでいる。「お客様の高齢化による減少と若者の小売店ばなれで今後良くなっていく希望が持てない。新たな商品開発（仕入）、ネット販売などにもしていきべきか検討中。」といった声が聞かれる一方、「客足は多かったが販売単価が下がっている。消費税増税前の需要がいつから高まるか注視。」「キャンペーン等を利用し集客増。今後も集客に向けてのキャンペーンを企画しているので好調が継続の見通しである。」といった声も聞かれた。

なお、商業・サービス業の業種別の業況 DI は以下の通り。

	平成 29 年		平成 30 年			
	7-9 月期	10-12 月期	1-3 月期	4-6 月期	7-9 月期 見込	10-12 月期 見込
卸売業	▲26.5	▲26.0	▲30.7	▲23.4	▲23.6	▲22.6
小売業	▲51.4	▲55.1	▲48.8	▲45.8	▲51.8	▲48.9
飲食店	▲29.7	▲45.7	▲45.1	▲23.4	▲25.4	▲23.8
サービス業	▲13.1	▲14.0	▲18.3	▲22.9	▲11.9	▲3.8

業種別では、卸売業は前期比 7.3 ポイント上昇の▲23.4、小売業は同 3.0 ポイント上昇の▲45.8、飲食店は同 21.7 ポイント上昇の▲23.4、サービス業は同 4.6 ポイント低下の▲22.9 となった。

今後の業況 DI は、3 ヶ月後では卸売業が現在比 0.2 ポイント低下の▲23.6、小売業は同 6.0 ポイント低下の▲51.8、飲食店は同 2.0 ポイント低下の▲25.4、サービス業は同 11.0 ポイント上昇の▲11.9、半年後では卸売業が同 0.8 ポイント上昇の▲22.6、小売業は同 3.1 ポイント低下の▲48.9、飲食店は同 0.4 ポイント低下の▲23.8、サービス業は同 19.1 ポイント上昇の▲3.8 を見込んでいる。

(3) 規模別特徴

		平成 29 年		平成 30 年			
		7-9 月期	10-12 月期	1-3 月期	4-6 月期	7-9 月期 見込	10-12 月期 見込
中規模	業況 DI	▲13.8	▲10.1	▲11.3	▲8.5	▲11.3	▲10.8
	売上 DI	▲8.7	▲8.1	▲9.0	▲11.0	—	—
	採算 DI	▲17.9	▲16.7	▲21.8	▲18.6	—	—
小規模	業況 DI	▲28.4	▲26.1	▲28.1	▲24.0	▲27.6	▲25.6
	売上 DI	▲24.2	▲21.1	▲28.7	▲21.1	—	—
	採算 DI	▲25.3	▲24.6	▲29.6	▲23.1	—	—

規模別の業況 DI は、中規模企業は前期比 2.8 ポイント上昇の▲8.5、小規模企業は同 4.1 ポイント上昇の▲24.0 となった。

経営状況では、中規模企業は売上 DI が前期比 2.0 ポイント低下の▲11.0、採算 DI が同 3.2 ポイント上昇の▲18.6、小規模企業は売上 DI が同 7.6 ポイント上昇の▲21.1、採算 DI が同 6.5 ポイント上昇の▲23.1 となった。

今後の業況 DI については、中規模企業は 3 ヶ月後が現在比 2.8 ポイント低下の▲11.3、半年後が同 2.3 ポイント低下の▲10.8、小規模企業は 3 ヶ月後が同 3.6 ポイント低下の▲27.6、半年後が同 1.6 ポイント低下の▲25.6 を見込んでいる。

(4) 地区別特徴 (業況 DI)

	平成 29 年		平成 30 年			
	7-9 月期	10-12 月期	1-3 月期	4-6 月期	7-9 月期 見込	10-12 月期 見込
横浜	▲16.1	▲13.3	▲13.4	▲15.6	▲20.5	▲14.2
川崎	▲27.9	▲14.7	▲12.7	▲12.6	▲15.5	▲15.0
横須賀	▲18.8	▲23.8	▲21.3	▲16.5	▲28.3	▲28.4
平塚	▲24.2	▲8.4	▲14.7	▲9.1	▲11.9	▲13.8
藤沢	▲22.9	▲34.3	▲35.8	▲17.2	▲17.9	▲17.0
相模原	▲12.7	▲20.6	▲15.6	▲15.8	▲18.8	▲18.2
厚木	▲10.9	▲3.6	▲12.4	▲7.1	▲9.1	▲9.3
足柄上・西湘	▲35.1	▲28.3	▲37.3	▲33.9	▲29.5	▲32.1

今期の地区別の業況 DI は、川崎地区（前期比 0.1 ポイント上昇の▲12.6）、横須賀地区（同 4.8 ポイント上昇の▲16.5）、平塚地区（同 5.6 ポイント上昇の▲9.1）、藤沢地区（同 18.6 ポイント上昇の▲17.2）、厚木地区（同 5.3 ポイント上昇の▲7.1）、足柄上・西湘地区（同 3.4 ポイント上昇の▲33.9）の 6 地区で上昇となり、横浜地区（前期比 2.2 ポイント低下の▲15.6）、相模原地区（同 0.2 ポイント低下の▲15.8）の 2 地区で低下となった。

今後の業況 DI は、3 ヶ月後は、足柄上・西湘地区（現在比 4.4 ポイント上昇の▲29.5）の 1 地区のみで上昇となり、横浜地区（同 4.9 ポイント低下の▲20.5）、川崎地区（同 2.9 ポイント低下の▲15.5）、横須賀地区（同 11.8 ポイント低下の▲28.3）、平塚地区（同 2.8 ポイント低下の▲11.9）、藤沢地区（同 0.7 ポイント低下の▲17.9）、相模原地区（同 3.0 ポイント低下の▲18.8）、厚木地区（同 2.0 ポイント低下の▲9.1）の 7 地区は低下すると見込んでいる。

半年後は、横浜地区（現在比 1.4 ポイント上昇の▲14.2）、藤沢地区（同 0.2 ポイント上昇の▲17.0）、足柄上・西湘地区（同 1.8 ポイント上昇の▲32.1）の 3 地区で上昇となり、川崎地区（同 2.4 ポイント低下の▲15.0）、横須賀地区（同 11.9 ポイント低下の▲28.4）、平塚地区（同 4.7 ポイント低下の▲13.8）、相模原地区（同 2.4 ポイント低下の▲18.2）、厚木地区（同 2.2 ポイント低下の▲9.3）の 5 地区は低下すると見込んでいる。

▼本件に関するお問い合わせ先
 (公財) 神奈川産業振興センター (KIP)
 (Kanagawa Industrial Promotion Center)
 事業部経営総合相談課 藤田
 TEL:045-633-5201 FAX:045-633-5194
 URL <http://www.kipc.or.jp/> E-mail:soudan@kipc.or.jp

景気動向調査 (平成30年4月～6月期)

業種別DI表

		製造業	建設業	商業・サービス業				総合	
				卸売業	小売業	飲食店	サービス業		小計
回収数		368	136	107	227	65	144	543	1047
業況判断	現在の業況	3.0	0.0	-23.4	-45.8	-23.4	-22.9	-32.7	-15.9
	3ヶ月後の業況	-4.9	-5.2	-23.6	-51.8	-25.4	-11.9	-32.3	-19.1
	半年後の業況	-6.4	-4.4	-22.6	-48.9	-23.8	-3.8	-29.2	-17.8
経営状況	売上	-1.4	-15.4	-15.9	-38.1	-27.7	-12.7	-25.9	-15.8
	採算	-7.4	-9.6	-19.6	-40.6	-26.6	-32.9	-32.7	-20.7
	引き合い／客数	4.3	-2.9	-12.1	-42.4	-21.9	-22.4	-28.6	-13.6
	単価	-7.9	2.2	-4.7	-34.7	-21.9	-22.7	-24.0	-14.9
	仕入価格	-54.9	-45.6	-51.4	-39.6	-64.6	-20.0	-39.9	-45.9
	資金繰り	-9.2	-2.2	-18.7	-38.3	-27.0	-14.7	-26.7	-17.3
	残業	-1.1	-17.8	-10.4	-8.8	-16.4	-26.1	-14.6	-10.2
	設備稼働	-1.4	-11.5	-	-	-	-	-	-4.0
前期経営実績	売上水準	8.7	13.2	-18.9	-41.8	-17.5	-16.2	-27.6	-9.4
	利益水準	24.0	31.9	4.7	-28.3	-15.4	-12.1	-15.9	4.4
	在庫	5.9	-3.3	18.1	7.7	3.1	-34.6	-1.7	0.8
	投資	0.5	-0.8	-4.0	-14.2	-4.8	-24.3	-13.8	-7.0
	雇用状況	-26.9	-48.9	-20.4	-11.0	-28.1	-17.0	-16.5	-24.4

(注)DI(Diffusion Index):各項目ごとのプラス要素の比率からマイナス要素の比率を差し引いた数値

参考<前回調査> 景気動向調査 (平成30年1月～3月期)

		製造業	建設業	商業・サービス業				総合	
				卸売業	小売業	飲食店	サービス業		小計
回収数		374	134	102	255	72	143	572	1080
業況判断	現在の業況	1.9	0.7	-30.7	-48.8	-45.1	-18.3	-37.5	-19.1
	3ヶ月後の業況	-2.7	-11.5	-25.8	-45.8	-36.2	-1.4	-29.7	-18.1
	半年後の業況	-3.3	-18.0	-29.9	-48.8	-35.3	-3.9	-33.1	-20.8
経営状況	売上	-5.6	-1.5	-20.6	-44.5	-30.6	-11.0	-30.6	-18.2
	採算	-11.1	-7.6	-29.7	-45.5	-38.6	-33.8	-39.0	-25.4
	引き合い／客数	5.7	3.0	-2.9	-49.2	-36.1	-22.4	-32.5	-15.0
	単価	-9.7	-6.8	-17.0	-34.5	-15.5	-15.0	-24.2	-17.0
	仕入価格	-46.5	-37.6	-46.1	-47.2	-77.8	-19.3	-44.0	-44.0
	資金繰り	-10.0	-3.0	-21.6	-40.4	-36.1	-23.8	-32.3	-21.0
	残業	-0.5	-2.3	-12.7	-10.3	-14.3	-25.9	-15.3	-8.5
	設備稼働	0.0	-0.8	-	-	-	-	-	-0.2
前期経営実績	売上水準	10.2	-1.5	-9.8	-40.0	-15.3	-23.2	-27.3	-11.1
	利益水準	23.2	11.2	7.9	-27.7	-9.7	-11.3	-15.0	1.5
	在庫	2.5	0.0	17.3	7.5	2.8	-24.8	0.9	1.4
	投資	3.2	-7.0	-5.2	-17.7	-16.2	-19.9	-15.9	-8.1
	雇用状況	-31.5	-50.4	-21.6	-20.4	-34.3	-26.1	-23.8	-29.9

規模別DI表

		製造業		建設業		商業・サービス業		総合	
		中規模企業	小規模企業	中規模企業	小規模企業	中規模企業	小規模企業	中規模企業	小規模企業
回収数		190	178	64	72	297	246	551	496
業況判断	現在の業況	6.3	-0.6	10.9	-9.7	-22.3	-45.1	-8.5	-24.0
	3ヶ月後の業況	-1.1	-9.0	6.3	-15.5	-21.9	-44.7	-11.3	-27.6
	半年後の業況	-2.7	-10.3	4.7	-12.7	-19.6	-40.4	-10.8	-25.6
経営状況	売上	0.0	-2.8	-7.8	-22.2	-19.0	-34.2	-11.0	-21.1
	採算	-5.8	-9.0	1.6	-19.4	-31.4	-34.3	-18.6	-23.1
	引き合い／客数	8.9	-0.6	7.8	-12.5	-16.1	-43.5	-4.6	-23.6
	単価	-9.0	-6.7	4.7	0.0	-18.6	-30.6	-12.5	-17.5
	仕入価格	-50.5	-59.8	-39.1	-51.4	-37.0	-43.3	-42.0	-50.3
	資金繰り	-6.3	-12.4	3.1	-6.9	-20.5	-34.2	-12.8	-22.3
	残業	1.1	-3.4	-15.6	-19.7	-12.8	-16.9	-8.3	-12.4
	設備稼働	5.8	-9.1	-6.3	-16.4	0.0	0.0	2.8	-11.2
前期経営実績	売上水準	15.9	1.1	17.2	9.7	-19.2	-37.6	-2.8	-16.8
	利益水準	30.5	16.9	39.1	25.4	-9.7	-23.3	10.1	-1.8
	在庫	8.0	3.5	-3.3	-3.4	2.1	-6.2	3.6	-2.3
	投資	6.4	-5.7	4.8	-5.9	-9.5	-19.0	-2.2	-12.3
	雇用状況	-31.2	-22.3	-50.8	-47.1	-22.1	-9.7	-28.7	-19.7

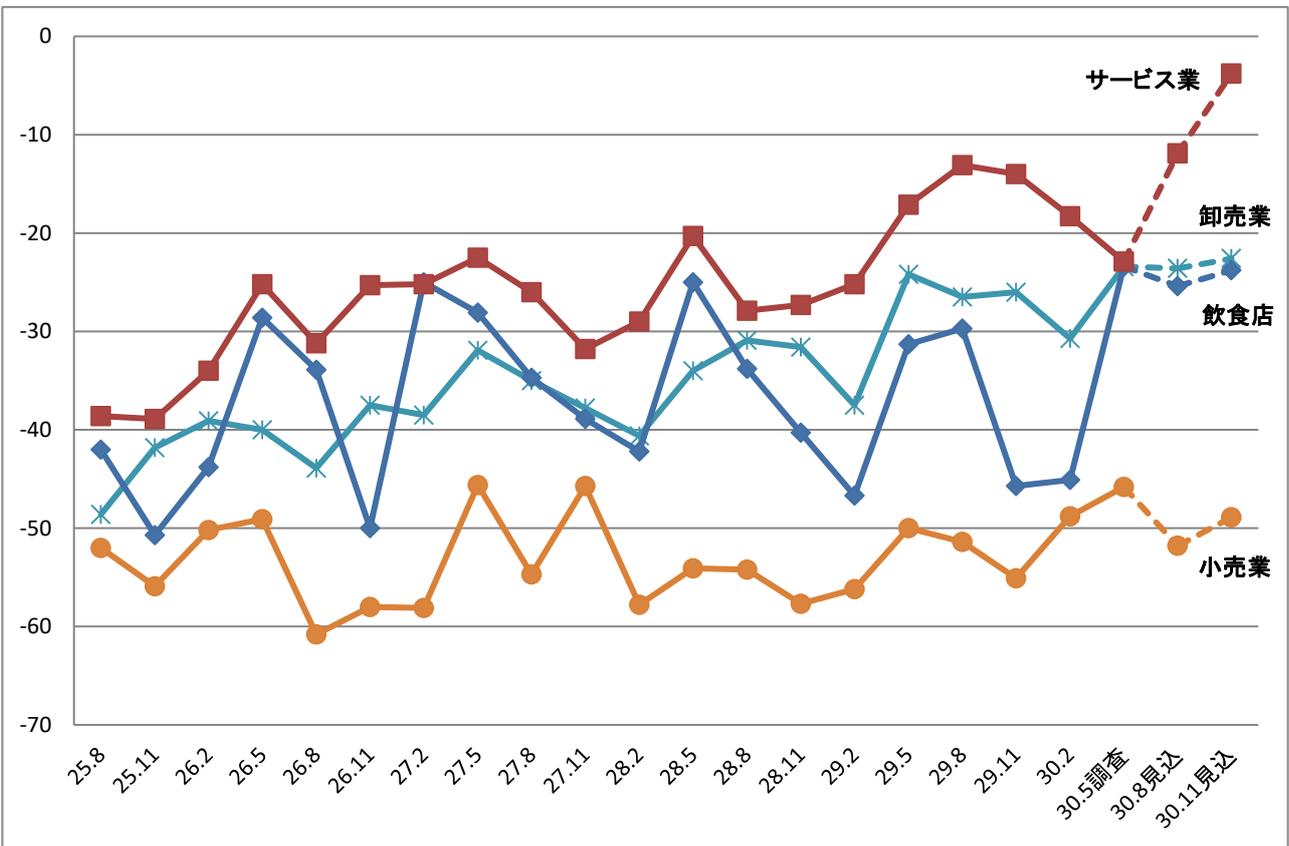
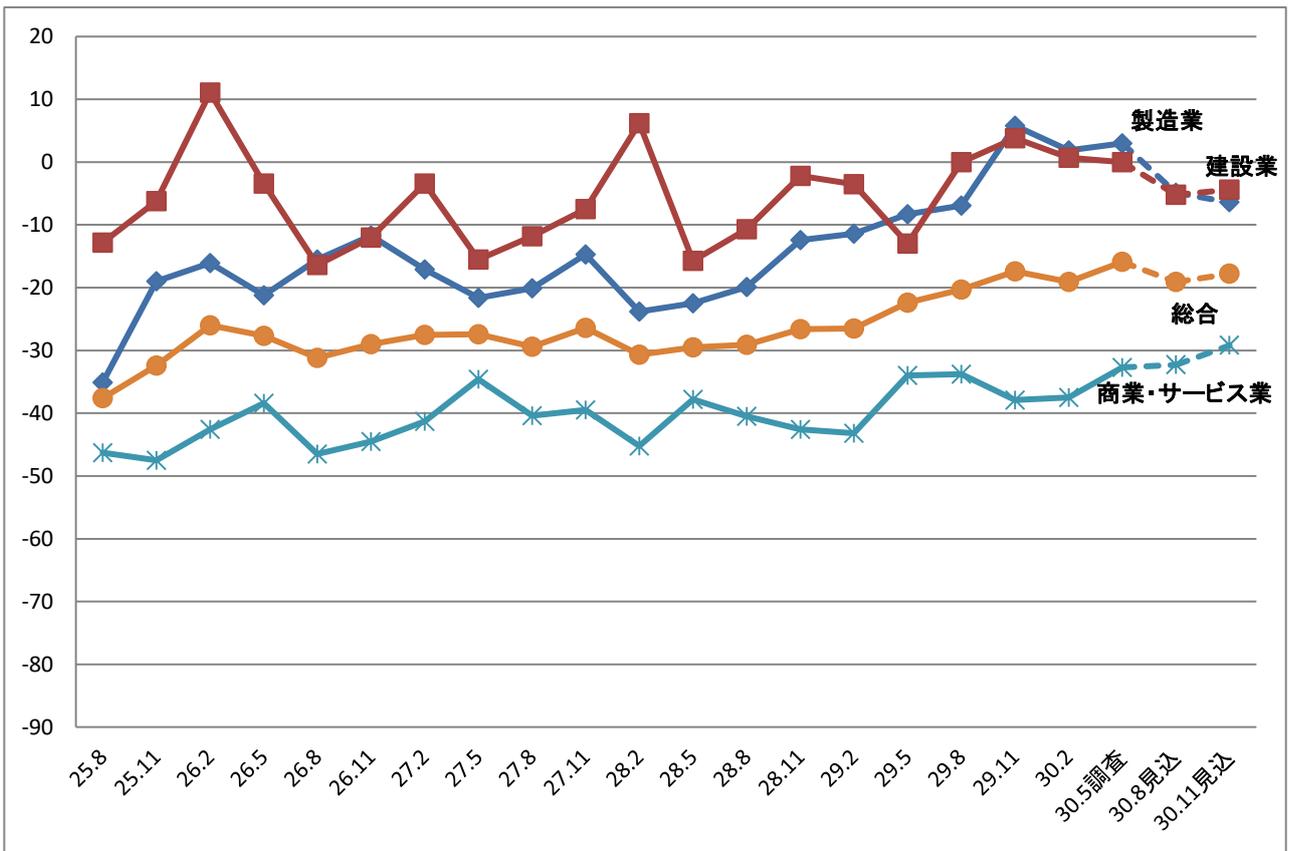
地区別DI表

		横浜	川崎	横須賀	平塚	藤沢	相模原	厚木	足柄上・西湘	総合
回収数		251	143	115	110	99	101	113	115	1047
業況判断	現在の業況	-15.6	-12.6	-16.5	-9.1	-17.2	-15.8	-7.1	-33.9	-15.9
	3ヶ月後の業況	-20.5	-15.5	-28.3	-11.9	-17.9	-18.8	-9.1	-29.5	-19.1
	半年後の業況	-14.2	-15.0	-28.4	-13.8	-17.0	-18.2	-9.3	-32.1	-17.8
経営状況	売上	-24.1	-7.7	-13.3	-8.2	-21.2	-10.0	-9.9	-24.1	-15.8
	採算	-20.2	-25.4	-15.8	-17.3	-17.2	-17.2	-20.4	-31.0	-20.7
	引き合い／客数	-14.1	-7.7	-16.5	-5.5	-16.2	-18.0	-3.5	-28.7	-13.6
	単価	-15.0	-5.6	-13.2	-18.3	-18.2	-15.2	-15.9	-20.4	-14.9
	仕入価格	-44.7	-42.6	-53.5	-49.1	-38.4	-45.5	-42.5	-52.7	-45.9
	資金繰り	-11.3	-12.0	-17.4	-14.5	-21.6	-21.0	-14.2	-35.7	-17.3
	残業	-12.2	-5.6	-11.5	1.9	-15.6	-6.1	-13.3	-18.0	-10.2
	設備稼働	-8.8	-2.5	1.9	7.3	-15.0	3.8	1.7	-22.7	-4.0
前期経営実績	売上水準	-4.0	-2.8	-14.0	-5.5	-20.6	-11.0	0.0	-27.4	-9.4
	利益水準	8.8	11.2	3.5	4.6	-6.2	-2.0	11.5	-5.3	4.4
	在庫	2.5	-3.6	1.8	4.8	2.1	0.0	-2.8	0.9	0.8
	投資	-9.7	-5.7	-0.9	-6.5	-8.5	-15.0	2.7	-10.6	-7.0
	雇用状況	-20.9	-24.6	-37.2	-25.0	-22.3	-24.2	-23.2	-21.4	-24.4

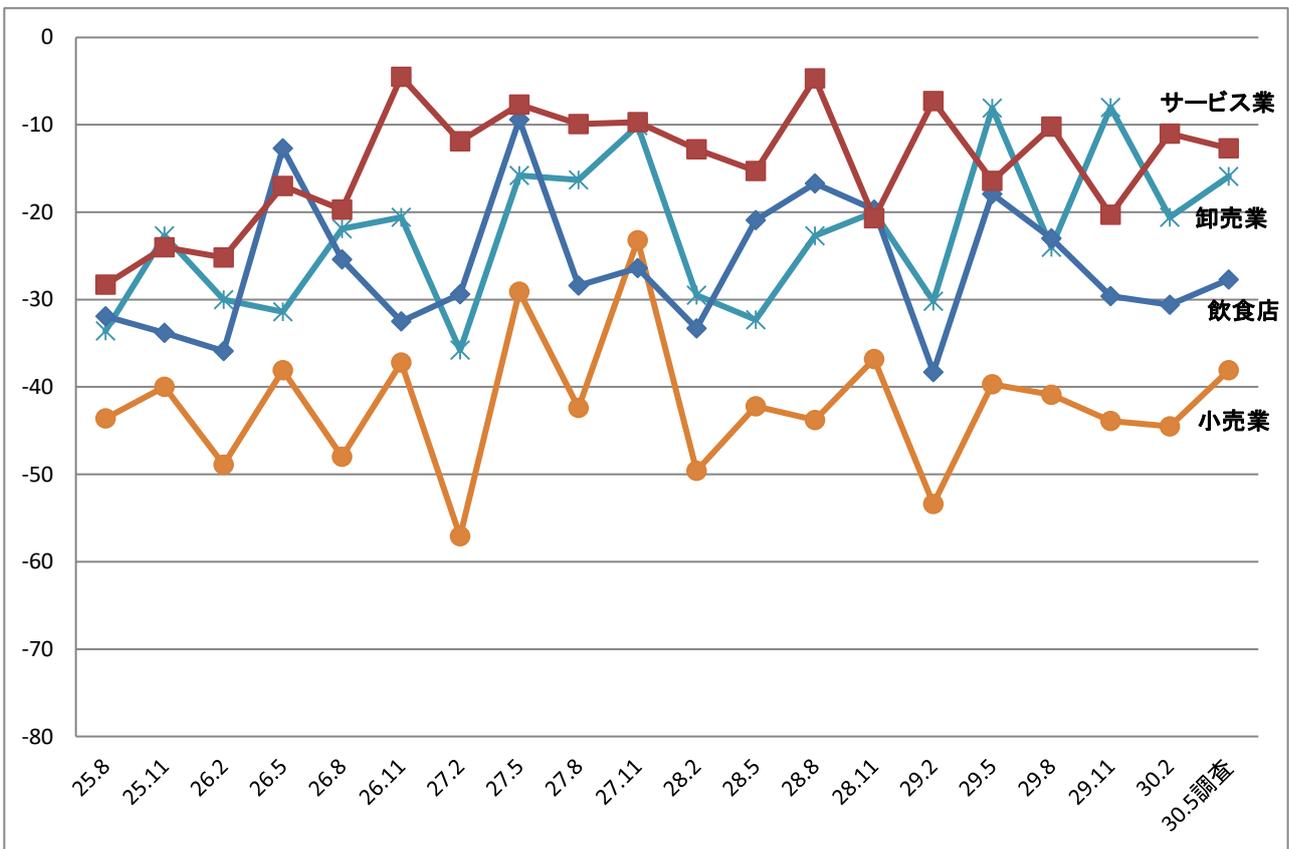
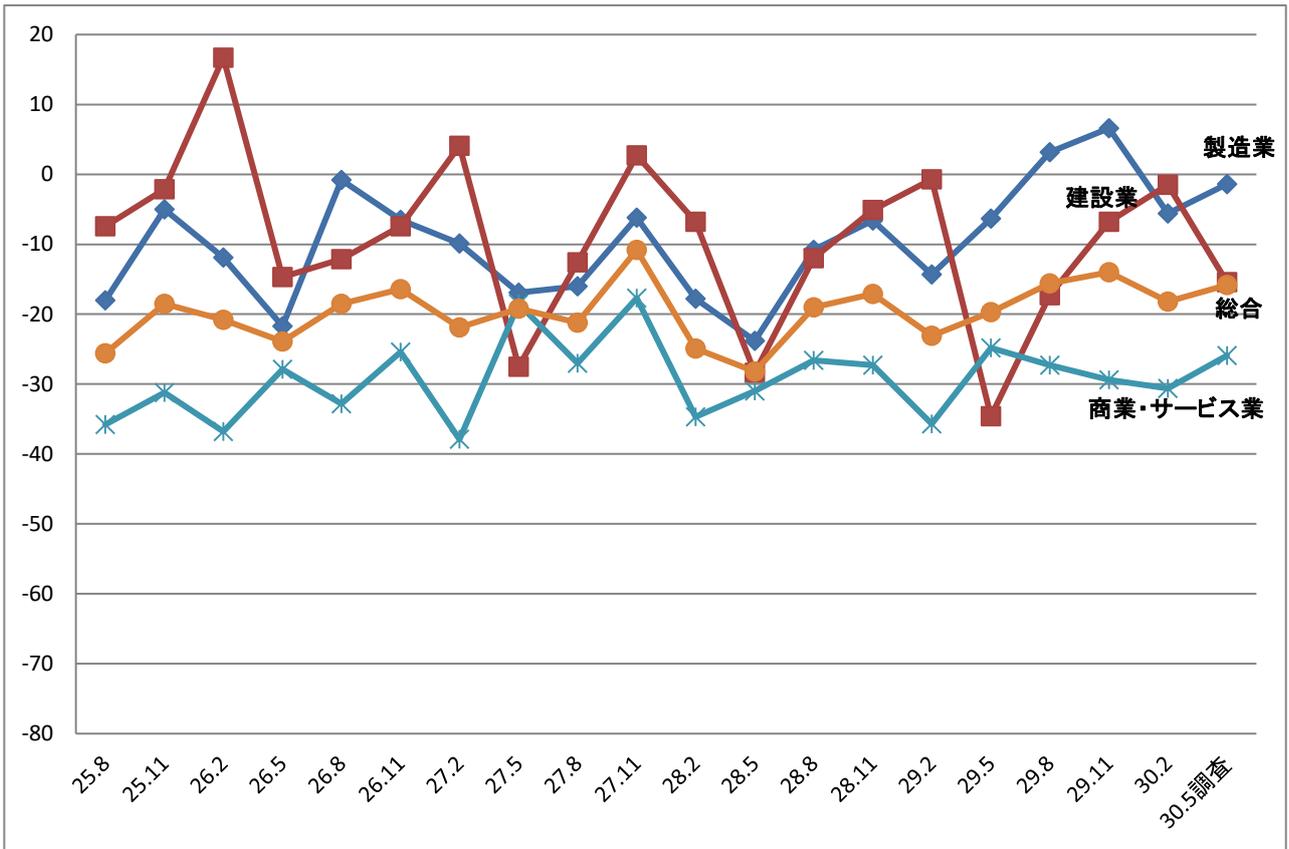
製造業中分類別DI表

		一般機械	電気機械	輸送用機械	その他	総合
回収数		86	87	66	129	368
業況判断	現在の業況	24.4	-14.9	-3.0	3.9	3.0
	3ヶ月後の業況	11.6	-5.8	-15.2	-10.3	-4.9
	半年後の業況	5.9	-2.3	-21.2	-9.8	-6.4
経営状況	売上	5.8	-11.5	3.0	-1.6	-1.4
	採算	-4.7	-13.8	-16.7	0.0	-7.4
	引き合い／客数	17.4	-8.0	-6.1	9.3	4.3
	単価	-2.3	-11.6	-18.2	-3.9	-7.9
	仕入価格	-55.8	-46.5	-50.8	-62.2	-54.9
	資金繰り	1.2	-16.1	-9.1	-11.6	-9.2
	残業	14.0	-9.4	0.0	-6.3	-1.1
	設備稼働	11.6	-10.7	-3.0	-3.1	-1.4
前期経営実績	売上水準	22.1	-3.5	4.5	10.2	8.7
	利益水準	39.5	17.4	18.2	20.9	24.0
	在庫	6.3	2.4	7.8	7.0	5.9
	投資	12.9	-5.9	-1.5	-2.3	0.5
	雇用状況	-32.6	-20.9	-37.5	-21.9	-26.9

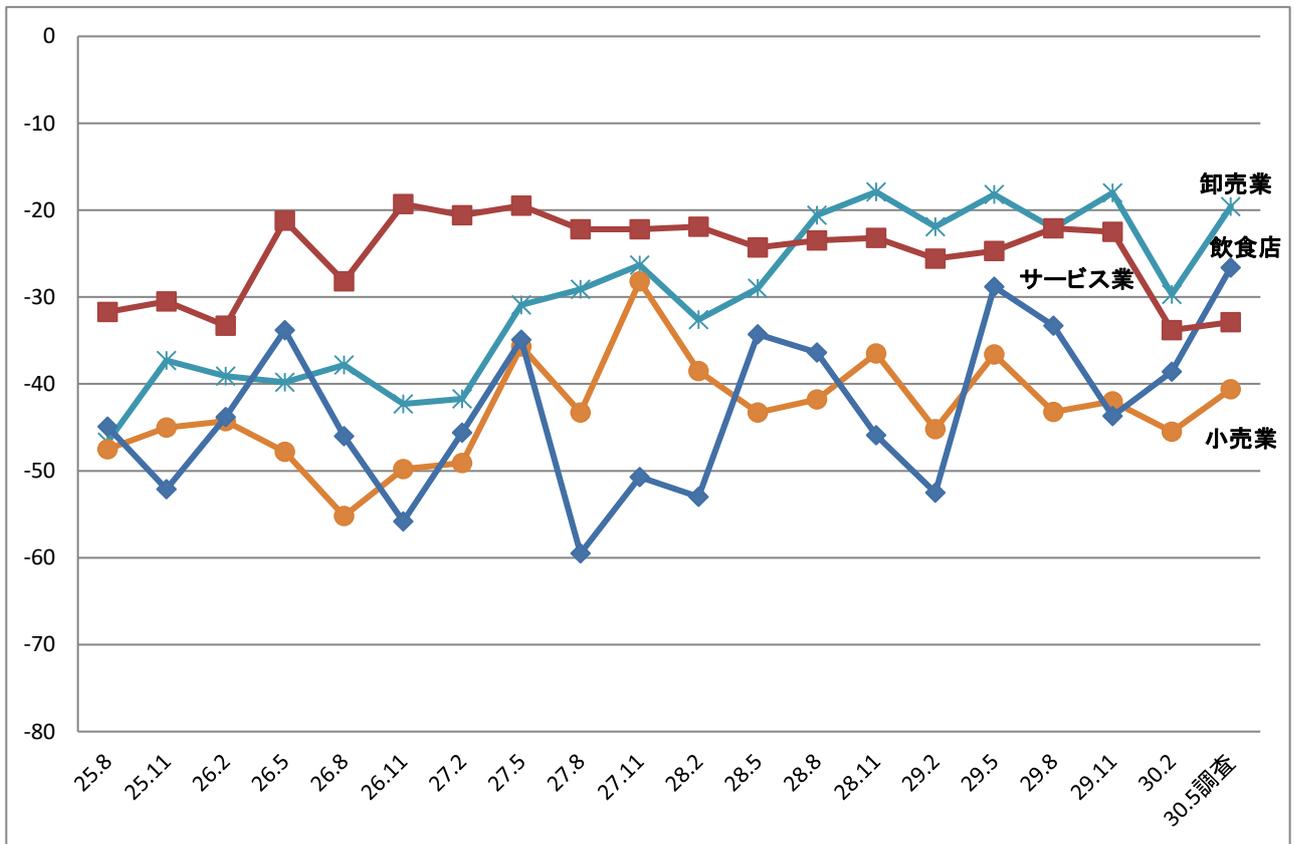
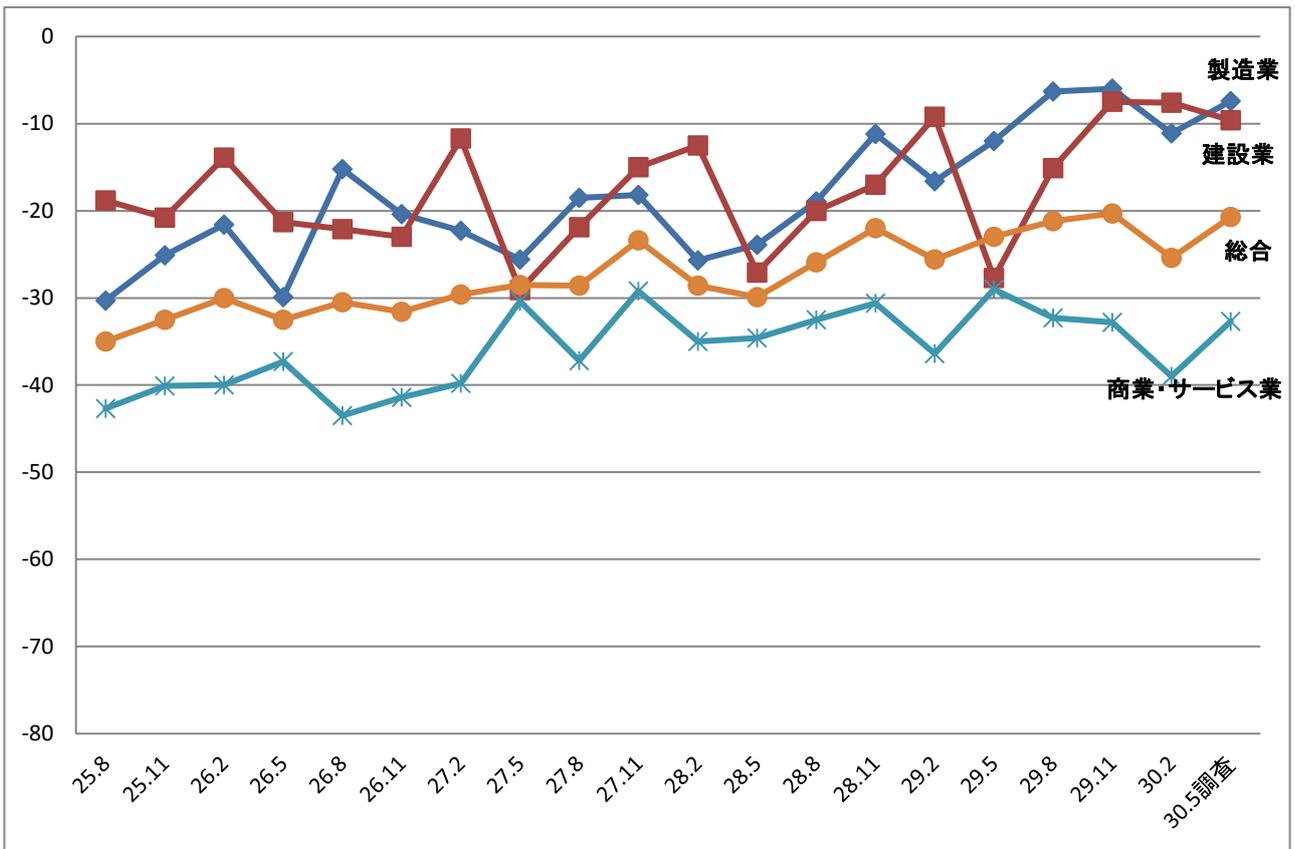
業況DIの推移



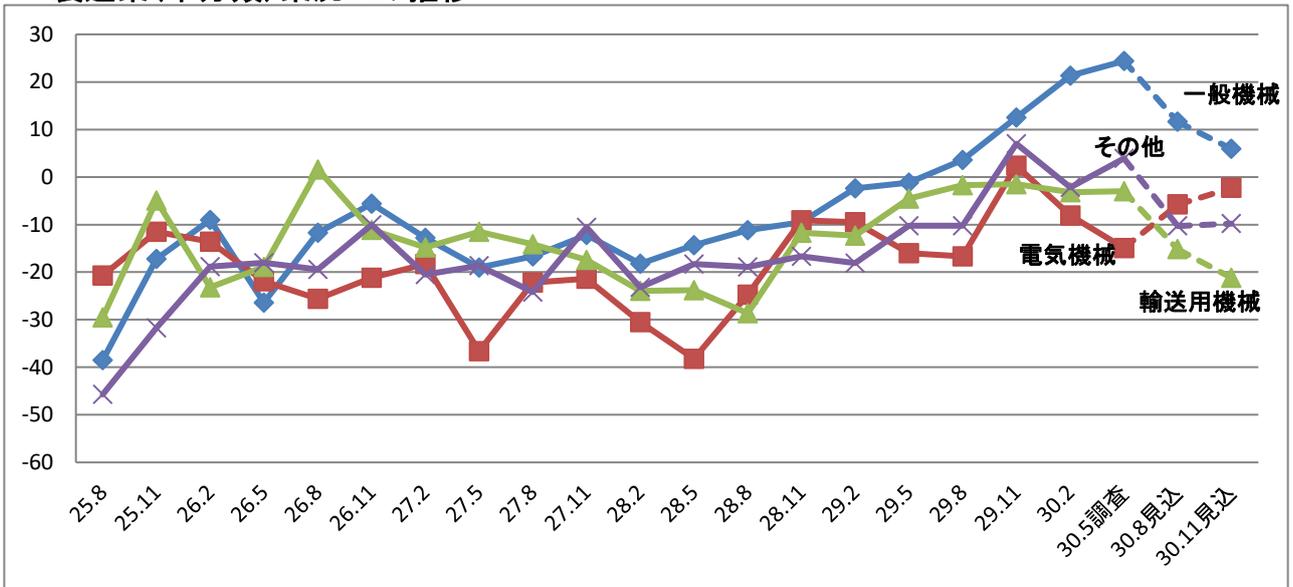
売上DIの推移



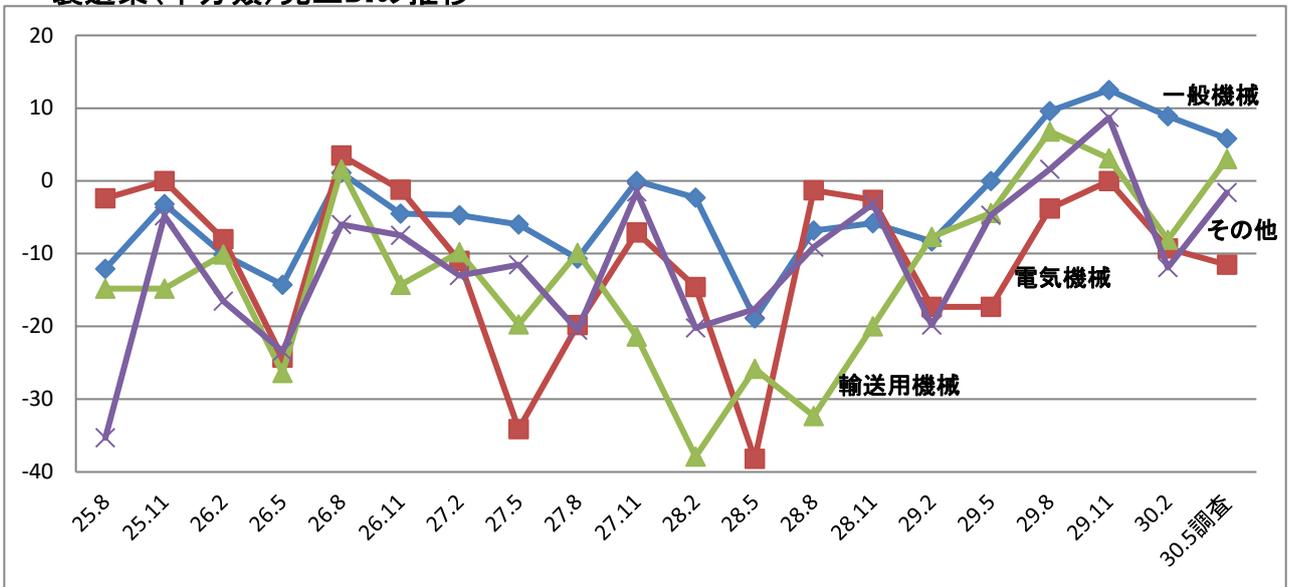
採算DIの推移



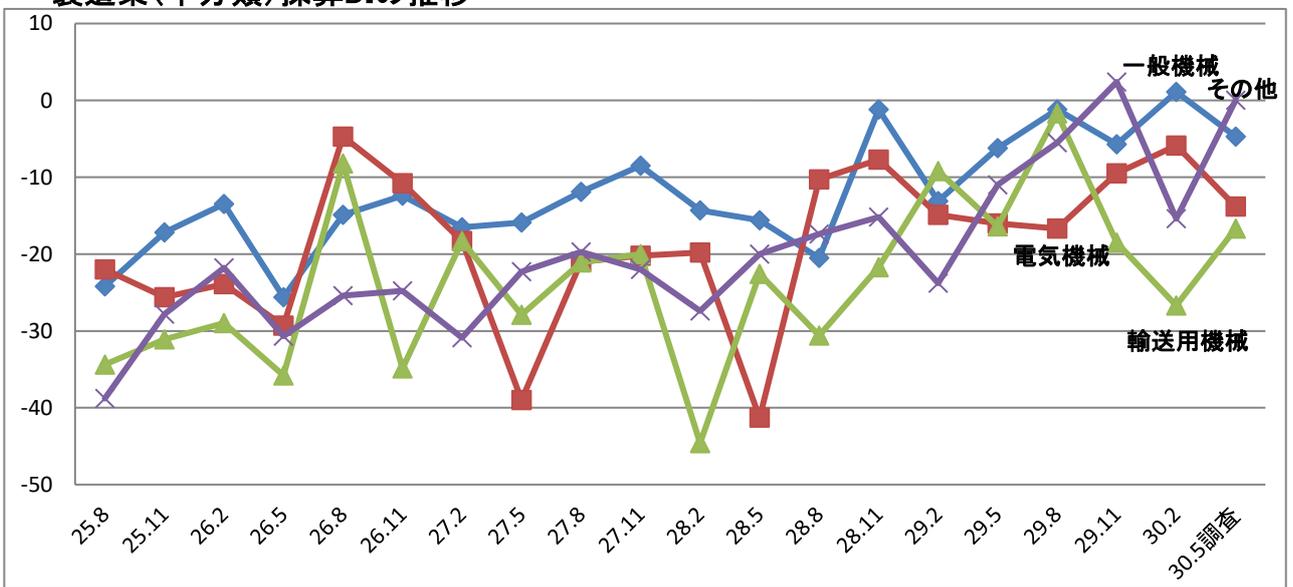
製造業(中分類)業況DIの推移



製造業(中分類)売上DIの推移



製造業(中分類)採算DIの推移



<製造業>

受注状況は上向きになって来ているが人手不足の解消が思うように行かず必要人員の確保と業務の効率化が緊急課題である。
平成30年が始まってから、徐々に受注が増加してきた。船舶関連の部品で、世界的な海運市況が好況となっていることから、消耗品などの需要が増えてくる見込。
前年度期末までは好調であったが、新年度に入り売上高減少気味。半年後は少し良くなると想定するが、不透明。
昨年8月から好調。しかし新規品が増えているのではなく、リピート品の数が増えている。周りは概ね2018年は悪くならないとの声が多い。
今年度内はある程度目途が付き、増収予想だが、来年度については主力の大型建機部品について不透明であり予想しづらい。
中東向けの受注が、国際情勢によって左右され先行不安定である。
仕入価格(単価)の上昇に、販価が追いついていない。在庫調整・社員の質の向上で利益確保を図る。大手取引先の受注状況厳しく、夏場迄苦戦。
5月以降は引き合いが増えてくると予想。廃業が増えてきて、下請けから戻された金型等の修理や加工先の問合せが多くなってきている。若い人が不足。
若手・中堅の立場となる従業員が熟練者になかなか追いつかない、その上でお客様の製品要求品質・難易度が高まっており、今後の新規案件の受注と利益確保が「人材」によって左右される。
現在は、世界的に好景気の影響で結果的に好結果である。しかし、部材の値上り等、今後の景気次第では、厳しくなる？
客先の新機種(測定器)の受注、生産が好調のため、弊社にも関連部品の受注増という好影響が出ております。
材料は値上りしていますが、製造単価は再見積りなどで値下げするようです。不調からなかなか抜け出せません。
納期の関係から残業が増えても売上が増えず、加工高も増加しない。今後も業務の無駄をなくすよう努めていく。
製造業には人が集まりにくくなっている。納期が短い為、断わっている状態である。
受注は好調だが、一部購入品(需要過多)が納期通りに入荷せず客先に迷惑をかける事がある。いつまでこの状態が続くのか。
半導体・建機・防災、理化学関係好調で受注多い。外注業者に協力してもらっている。
新規製品の見積りや時間を要するのでその間は、どうしても売上げは落ちる。5、6月には良い方向にむく予定。
業種転換(自動車→航空機に)が進行中で、コストは安いと量的には増えている。新人技術不足が足かせとなる可能性あり、次の飛躍ができない。

<建設業>

人手不足が問題です。この状況が続くと人を育てられなくなる。大企業ばかり人があつまってしまうのはどうかと思う。制限をかけてほしいと思う。それが解決しないと会社自体前に進めない。
人材不足などで募集しても全然引っかからない。人材がいれば、受注出来る。
新年度の始まりですが受注物件が無く苦勞しています。いつも、人材不足か、受注不足で大変です。
今後、公共工事の受注に期待。資材の高騰、利益を圧迫懸念。雇用状況、採用に苦慮している。
引き合いはあっても入札見積合せ等の受注形態では3ヵ月後、半年後を、判断するのは難しい状況です。
年度末に関係なく作業は少ない。受注単価も厳しく今後の仕事予定も少ないと思う。
引き合いは多いが、人材不足。工程を考えないと人のやりくりが難しい。

<卸売業>

固定費の減少(家賃、人件費)等により売上高は減少しているが、資金繰りは良くなっている。
通販との比較をされる。各社会保険等が会社の負担になっている。
労働力の確保、配送費の高騰に要留意。
キャンペーン等を利用し集客増。今後も集客に向けてのキャンペーンを企画しているので好調が継続の見通しである。
少子化により今後も売上減少の見込み。海外展開を模索中。
原材料費の高騰により仕入値が上昇。追隨して売り値を上げられるかが今後の課題です。

<小売業>

業界的にも、業績は厳しい状況。原因は、客単価の減少、競合他社の進出等より売上横這い。今後についても、商品を吟味し時代の流れにそくした商品をそろえ仕入に十分注意し、生き残れる企業として舵を取っていく。
お客様が高齢化により減少している。これからは、ますます通信販売が強くなると思います。
お客様の高齢化による減少と若者の小売店ばなれで今後良くなっていく希望が持てない。新たな商品開発(仕入)、ネット販売などにもしていくべきか検討中。
最近では会社だけでなく個人も品物買入前に「見積がほしい」という人が増えている為利益が減っているように思います。
消費者のパターンの変化。COOP、アマゾンなどで変わっているものが多い。
7月より運賃の値上げとなり収益の悪化が想定される。
人件費・運賃他経費が上がっているが、販売価格に現状は転嫁しにくい。
輸送費の高騰がじわじわと悪影響を及ぼしそうです。
客数が減っている。商品構成のうち商品単価の安いものを多くあつかっている。
薬価および調剤報酬改正の影響あり。
景気は悪い。最近では高齢とともにリタイヤの方が増えている。若い人達のゴルフ離れが目立ち需要が減っている。見通し暗い。
年始より低調ながらも前年実績並みを維持してきましたが4、5月の大型連休前後から一段と厳しさを増し、お客さまのモノ消費への低調な反応を感じています。当店周辺もいつもに比べ閑散としているように感じます。
客足は多かったが販売単価が下がっている。消費増税前の需要がいつから高まるか注視。
高齢化、家族の分散、大型店の出店と、小売業は、キビシイです。次世代が心配です。
包装資材の値上り、人件費の上昇がネガティブ要因で今後の影響が懸念されます。売り上げは好調が続いています。

<飲食店>

昨年よりも、外国人旅行者が増えて居ますが、日本人客は減少している様に感じます。「部分的には」良い所はあると思いますが、全体的にはお客様がそれほど箱根を回っているようには思えません。
求人しても集まらず、すぐやめてしまう。
世代交替が不調。
GW明けが昨年よりも売り上げが落ちています。原因は何か? わかりません 銀行の金利は少し上がってきているようですが?
夜が全く、不調。
先が見通せない状況。

<サービス業>

世間一般と同様に、IT系技術者の人手不足感があります。
派遣業法の改正等により、色々のしぼりがあり、追いつくのが大変。人手不足により売上の減少。資金繰りの圧迫に追い込まれている。
仕事量が減っている。不足している人員確保のための経費が増えている。
新人の採用が難しい(能力のある応募がない)。
経済の見通しが定かでないので、設備投資が少ないため、不動産(土地)の需要が少ない。
4月に外国人整備士(有資格者)が入社して、ひとまず、安心です。近隣からのクレームで残業ができなくなりましたが、社員全員で、効率の良い働き方を模索中です。
販売価格が下がってきています。
自社の事業改善を実行中。半年以降は成長過程に入る(目標)。
新しい取組を実施しているため、目の前の業績はいったん悪くなっているが、向かっている方向について採算が取れるようなシミュレーションにしている。